

令和4年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

■ 焼却灰等の放射性物質濃度（単位：^{ベクレル} Bq / kg）

第1回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和4年5月10日	飛灰 ^{※1 ※4}	不検出	36	36
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	10	10
	炉砂 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第2回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和4年8月8日	飛灰 ^{※1 ※4}	不検出	42	42
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	不検出	不検出
	炉砂 ^{※3}	不検出	13	13

第3回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和4年11月7日	飛灰 ^{※1 ※4}	不検出	71	71
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	不検出	不検出
	炉砂 ^{※3}	不検出	16	16

第4回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和5年2月3日	飛灰 ^{※1 ※4}	不検出	32	32
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	不検出	不検出
	炉砂 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

※1 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※2 焼却残渣とは、燃やしたごみに含まれる未燃分（主に小石や金属類）をいう。

※3 炉砂とは、流動床式焼却炉においてごみを燃やすために用いる砂のことをいう。

※4 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位：^{マイクロシーベルト} μSv / 時）

第1回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド [△]
令和4年4月19日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05

第2回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド [△]
令和4年5月18日	0.06	0.05	0.05	0.06	0.06

第3回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド [△]
令和4年6月16日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

第4回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年7月11日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

第5回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年8月15日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06

第6回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年9月15日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05

第7回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年10月11日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

第8回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年11月2日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

第9回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和4年12月14日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06

第10回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和5年1月12日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06

第11回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和5年2月6日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.06

第12回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和5年3月1日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

※ 1か月に1回の頻度でクリーンセンター職員が測定を実施。

※ 地表面から1mの高さで測定。

Bq (ベクレル) : 放射能の量を表す単位 (放射線が出ている量を表す)

Sv (シーベルト) : 人が受ける被ばく線量の単位 (人が受ける放射線の量を表す)

μ (マイクロ) : 10^{-6} (100万分の1)